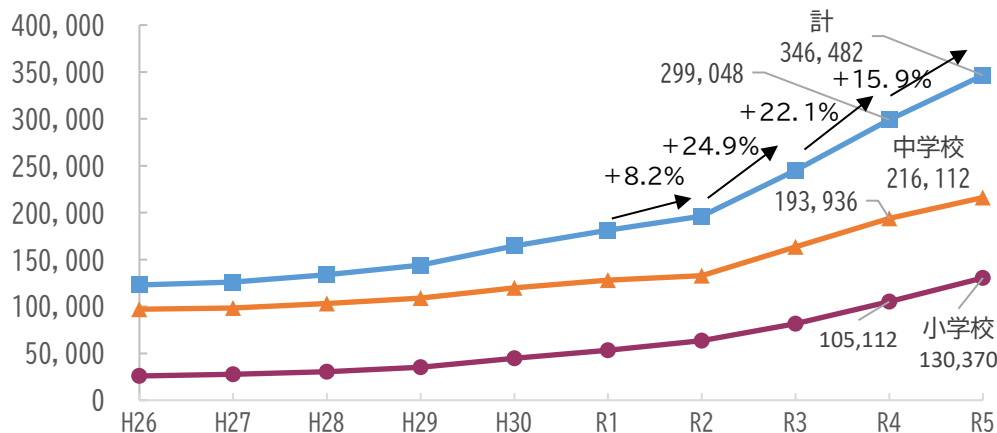


不登校の状況について

- ・小・中学校における不登校児童生徒数は約34万6千人(過去最多)
- ・不登校児童生徒の対前年度増加率は若干減少(R2 8.2%→R3 24.9%→R4 22.1%→R5 15.9%)
- ・学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた者は着実に増加(R3 156,009→R4 184,831→R5 212,114)
- ・学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けていない者は、134,368人(38.8%)
うち、119,699人(89.1%)は担任等から週1回程度以上の継続的な相談・指導等を受けていた
- ・不登校児童生徒のうち、学校内外の機関等や担任等から相談・指導等を受けた児童生徒の割合は95.8%

小・中学校それぞれの不登校児童生徒数の推移

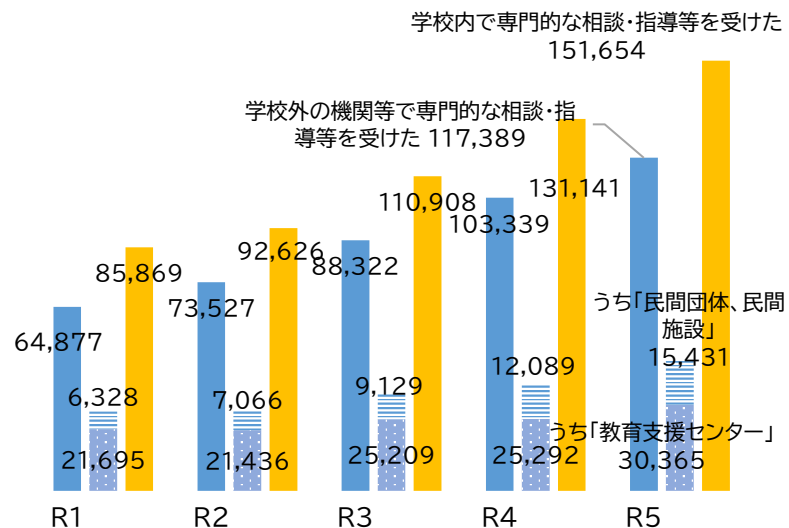


小・中学校における不登校児童生徒について把握した事実

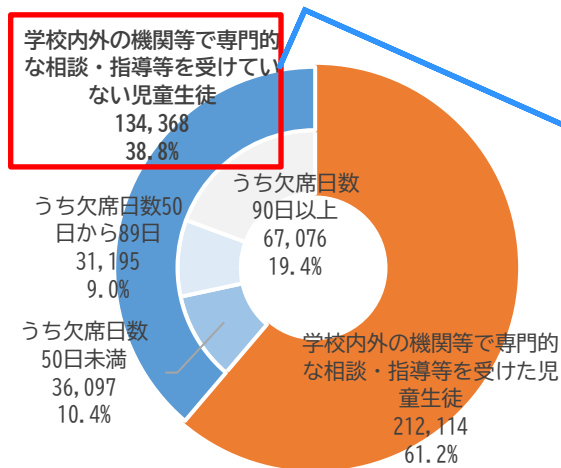
項目	人数	割合
1 学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった	111,631	32.2%
2 不安・抑うつ等の相談があった	80,192	23.1%
3 生活リズムの不調に関する相談があった	79,638	23.0%
4 学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	52,547	15.2%
5 いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった	45,972	13.3%

※不登校児童生徒全員につき、当てはまるものをすべて回答
※不登校児童生徒数に対する割合

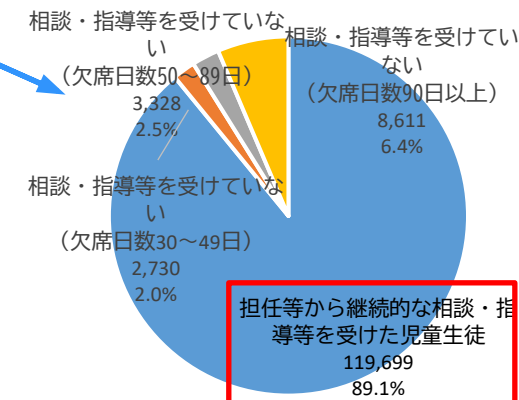
学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた児童生徒の状況



学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けていない不登校児童生徒



学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けていない不登校児童生徒のうち、担任等から継続的な相談・指導等を受けた者



- ・不登校児童生徒は、小・中・高で約42万人にのほり、過去最多の状況。
- ・小・中学校における不登校児童生徒のうち、約4割が、学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けられていない。
- ・令和5年3月、文部科学大臣の下、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」を発表。

(★) については令和6年度補正予算において措置

1 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えます。



学びの多様化学校(※)の設置促進 ※令和5年8月に名称変更

- ・学びの多様化学校の設置準備(補助上限約500万円)及び令和6年度以降に指定される学びの多様化学校の設置後の運営支援(補助上限額約400万円) 1.4億円(1.3億円)
- ・不登校児童生徒個々の実情に対応するために必要な支援に係る教職員配置(義務教育費国庫負担金)(学びの多様化学校に対する教職員の優先的な加配措置)
- ・公立小中学校施設整備 681億円の内数(683億円の内数)

校内教育支援センターの設置促進

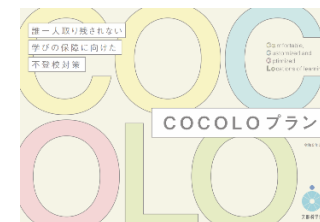
- ・校内教育支援センター支援員の配置【新規】 4億円

教育支援センターの機能強化

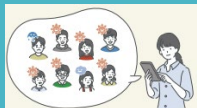
- ・教育支援センターのアウトリーチ支援体制の強化 0.7億円(0.3億円)
- ・メタバースを活用した不登校支援 1.3億円の内数(1.3億円の内数)

多様な学びの場、居場所を確保等

- ・不登校児童生徒支援協議会の設置 0.1億円(0.1億円)
- ・夜間中学の設置準備・運営支援及び教育活動の充実 1億円(0.9億円)
- ・高等学校における教育の質確保・多様性への対応に関する調査研究 0.8億円の内数(0.7億円の内数)
- ・各学校・課程・学科の垣根を超える高等学校改革推進事業 1億円の内数(1.2億円の内数)
- ・不登校・いじめ対策の効果的な活用の促進に向けた調査研究(★) 1億円
- ・経済的に就学困難な児童生徒への経済的支援の在り方に関する調査研究 0.1億円(0.1億円)
- ・幼児教育の学び強化事業 0.7億円の内数



2 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援します。



「チーム学校」による早期支援を推進

- ・SC・SSWの配置及び重点配置校数の拡充 86億円(84億円)
- ・心理・福祉に係る教師向け研修に関する調査研究 0.1億円(0.1億円)
- ・心理・福祉分野に強みを持つ養護教諭の養成・育成プログラム開発事業【新規】 0.3億円
- ・発達障害のある児童生徒等に対する支援事業 0.9億円の内数

一人で悩みを抱え込まないよう保護者を支援

- ・保護者支援体制の強化(★) 1億円
- ・SC・SSWの配置(再掲)



3 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にします。

学校で過ごす時間の中で最も長い「授業」を改善(子供たちの特性に合った柔軟な学びを実現)

- ・校内教育支援センター支援員の配置(再掲)

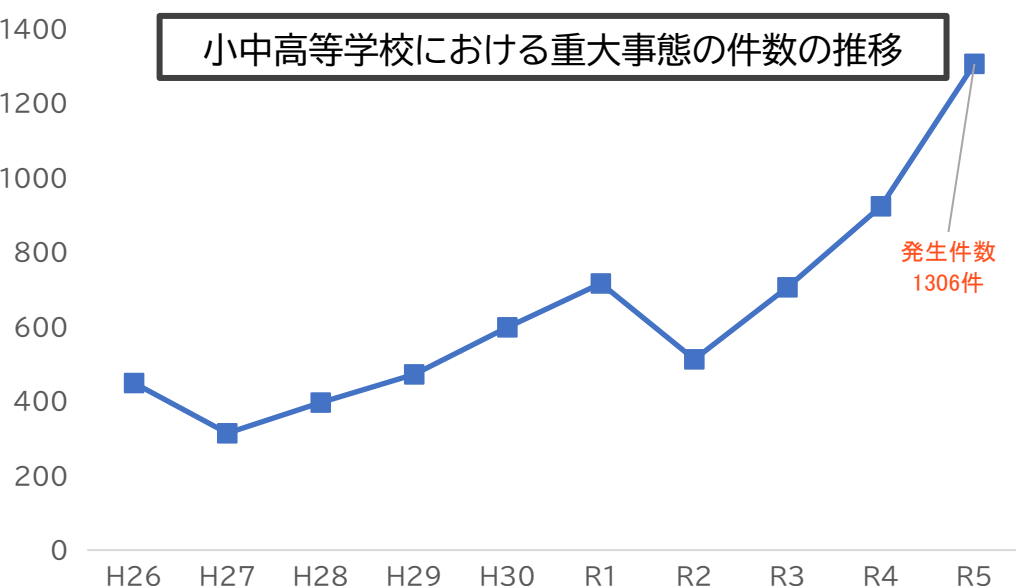
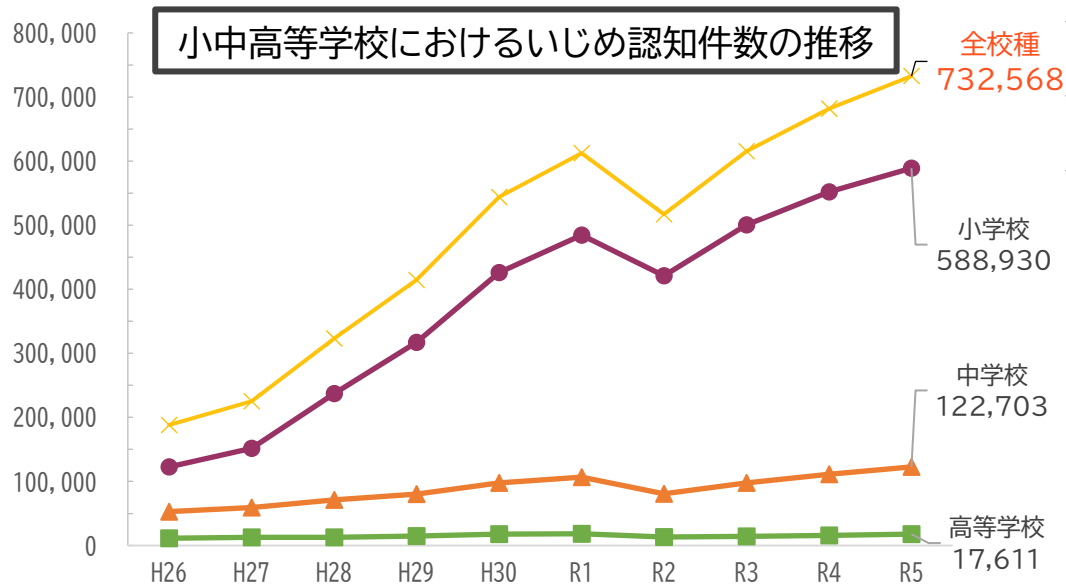
快適で温かみのある学校としての環境整備

- ・公立小中学校施設整備(再掲)



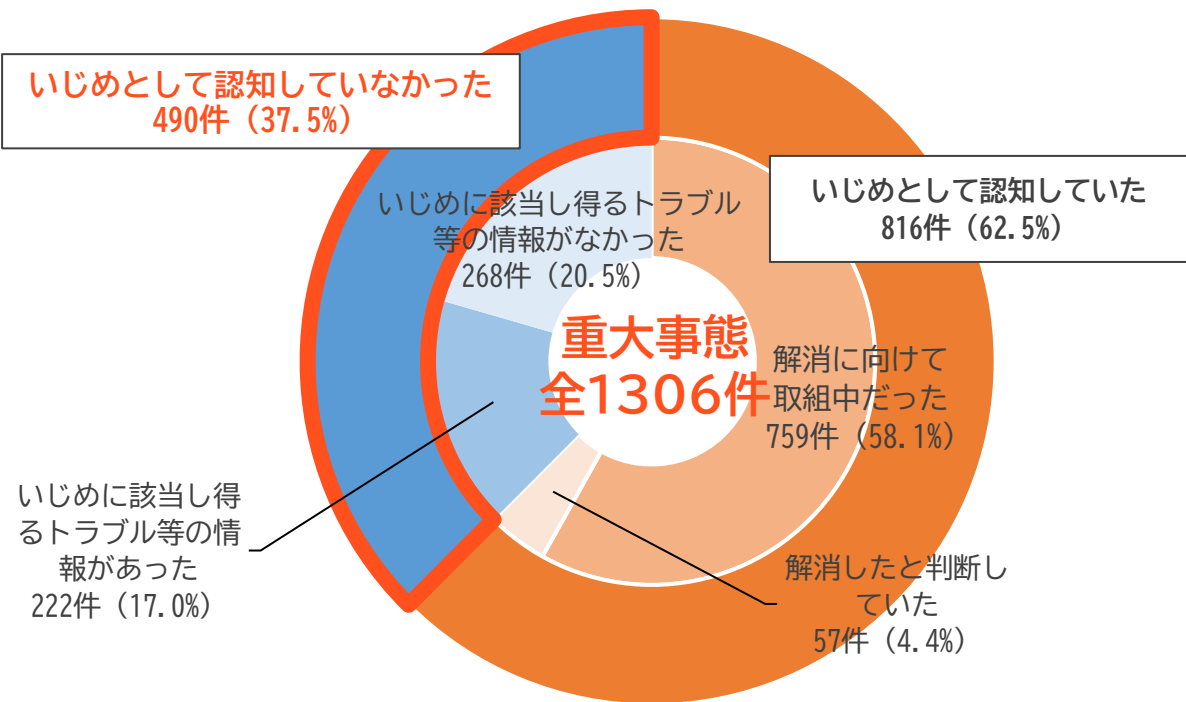
いじめの状況について

- ・令和4年度のいじめ認知件数は**過去最多**(約73万2千件)を記録
- ・いじめ重大事態の件数も**過去最多**(1306件)



重大な被害を把握する以前のいじめの対応状況

いじめ重大事態のうち、**約4割**が事前にいじめとして認知されず

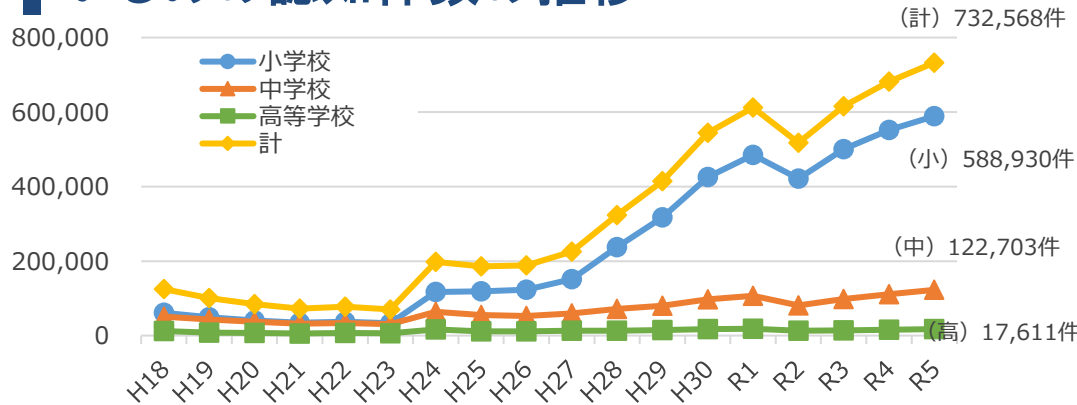


いじめ防止に向けた総合的な対策の推進について

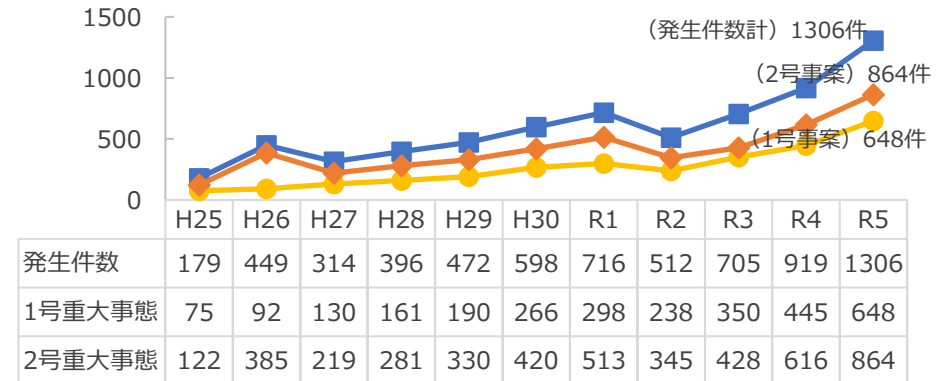
令和7年度予算額(案)
令和6年度補正予算額
(令和6年度当初予算額)

130億円の内数
2億円
128億円の内数)

いじめの認知件数の推移



いじめ重大事態の発生件数の推移



いじめ防止対策推進法等に基づき、積極的認知や組織的対応の徹底、いじめ重大事態調査の適切な実施を推進。文部科学省とこども家庭庁を共同議長とし、関係省庁を構成員とする「いじめ防止対策に関する関係省庁連絡会議」、有識者による「いじめ防止対策協議会」等を通じて、取組の検証・いじめ防止対策の強化を図る。

未然防止・早期発見

- いじめ未然防止教育のモデル構築等による、いじめ未然防止の推進 【R6補正予算額：0.7億円（新規）】
- SNS等を活用した相談体制の整備 【R7予算額（案）：86億円の内数（84億円の内数）】
- 「特別の教科 道徳」の着実な実施などによる道徳教育の充実 【R7予算額（案）：43億円（43億円）】
- 「多様性を認め、人権侵害をしない」児童生徒の育成に向けた人権教育の推進 【R7予算額（案）：31百万円（31百万円）】
- 健全な発達に資する体験活動の充実 【R7予算額（案）：1億円（1億円）】

早期対応・組織的対応

- いじめ対策マスター制度のモデル構築による、加害児童生徒への直接的な指導・支援や重大事態調査結果を踏まえた再発防止策の徹底 【R6補正予算額：1億円（新規）】
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置充実 【R7予算額（案）：86億円（84億円）】
- 教育行政に係る法務相談体制の整備 【地財措置】

いじめ重大事態への対応

- 重大事態の国への報告に基づく学校設置者等への指導・助言 ※非予算
- いじめの重大事態の調査に関するガイドラインの改訂 ※非予算
- 重大事態の未然防止に向けた国のサポートチーム派遣 ※非予算

その他

- 「いじめ防止対策に関する普及啓発協議会」等におけるいじめ防止対策の普及啓発
- 法に基づいた対応に係る教職員研修の実施、ネットいじめ対応に係る啓発動画の周知
- 「いじめ問題子供サミット」の開催

こども家庭庁 4.3億円 ※R6補正含む (4.2億円 ※R5補正含む)

- 学校外からのアプローチによるいじめ防止対策 【R6補正予算額：4.1億円 (R5補正予算額：4.1億円)】
- いじめ調査アドバイザーによる第三者性の確保 【R7予算額（案）：11百万円（5百万円）】